

「ここには、  
俺とお前だけだ。」

語り継ぎたい物語。  
今を生きるすべての人に、  
太平洋戦争終結から80年――

## 沖縄県伊江島での実話を基に描かれた、 作家・井上ひさし原案の傑作舞台を映画化

1945年沖縄県伊江島。激しい攻防戦が展開される中、2人の日本兵が命からがら木の上に身を潜め、日本の敗戦を知らぬまま2年もの間生き延びた——そんな衝撃の実話から着想を得た作家・井上ひさしが原案を遺し、こまつ座にて上演された舞台「木の上の軍隊」が映画化。本土から派兵された厳格な日本兵を演じるのは確かな演技力で日本の映画界を牽引してきた名優・堤 真一。沖縄出身の新兵に抜擢されたのは、数々の話題作で存在感を示す山田裕貴。ダブル主演を務める堤と山田は初の共演ながら、阿吽の呼吸で極限状態の兵士たちを、繊細かつ力強く、人間らしい可笑しみをもって表現する。監督と脚本を手掛けるのは、『ミラクルシティコザ』のスマッシュヒットが記憶に新しい沖縄出身の新進気鋭・平 一紘。全編沖縄ロケ、伊江島で実際に生い茂るガジュマルの木の上で撮影を敢行。終戦から80年、熾烈な地上戦が繰り広げられた沖縄戦を必死で生き抜いた日本兵の実話に基づく物語は、観る者すべての心に深く刻まれる。

**STORY** 太平洋戦争末期、戦況が悪化の一途を辿る1945年。飛行場の占領を狙い、沖縄県伊江島に米軍が侵攻。激しい攻防戦の末に、島は壊滅的な状況に陥っていた。宮崎から派兵された少尉・山下一雄（堤 真一）と沖縄出身の新兵・安慶名セイジュン（山田裕貴）は、敵の銃撃に追い詰められ、大きなガジュマルの木の上に身を潜める。仲間の死体は増え続け、圧倒的な戦力の差を目の当たりにした山下は、援軍が来るまでその場で待機することを決断する。戦闘経験が豊富で国家を背負う厳格な上官・山下と、島から出たことがなくどこか呑気な新兵・安慶名は、話が噛み合わないながらも、二人きりでじっと恐怖と飢えに耐え忍んでいた。やがて戦争は日本の敗戦をもって終結するが、そのことを知る術もない二人の“孤独な戦争”は続いていく。極限の樹上生活の中で、彼らが必死に戦い続けたものとは――。

6月13日(金)沖縄先行公開／7月25日(金)全国ロードショー

公式サイト:<https://happinet-phantom.com/kinouenoguntai/> 公式X:@kinoue\_guntai



あの日、俺たちは、  
この島に残された  
2人だけの軍隊だった。

# 木の上の軍隊

堤 真一 山田 裕貴

津波竜斗 玉代勢圭司 高玄 岸本尚泰 城間やよい 川田広樹(カレッジセル)  
玉城 凜(子役) 西平寿久 花城清長 吉田大駕(子役) 大湾文子 小橋川建 蓬萊つくし 新垣李珠 奥菜城美鈴 山西 惇

脚本・監督 平 一紘

原作「木の上の軍隊」(株式会社こまつ座・原案井七ひさし)

主題歌 Only

企画・橋本 匡広 プロデューサー 垣澤 田広 小西 寿介 井上 麻矢 大城 賢吉 ライブラリーユーザー 金森 保 アソシエイトプロデューサー 青木 真代 河原 奈津子 音楽 辺上 名美子 真栄里 美樹 劇中歌 民謡 音天間 かつお  
撮影 砂川 達朗 照明 島崎 博文 録音 依藤 祐美 美術 吉植 西樹 装飾 大坂 裕美 記録 中根 彩音 助監督 青木 亮吾 制作担当 米原 麻紀 広報 宮本 志保 ヘアメイク 森田 杏子 比屋根 香鈴 アクション監督 須長 大輔 VFXスーパーバイザー エグザイゼイ 編集 又吉 安樹  
企画製作 プロダクション エンコーズ 企画協力 にもつね 制作 プロダクション 陣利 シマ 一九四五 PROJECT 19  
後援 沖縄県 特別協力 伊江 村 協賛 島城文化庁 文化芸術振興費助成(日本映画製作支援事業) 独立行政法人 日本芸術文化振興会 大まか 沖縄  
製作 幹事・配給 ハビネット・フィルム・スタジオ ©2025 木の上の軍隊 製作委員会

6.13  
Fri  
沖縄先行

7.25  
Fri  
全国公開

1945年沖縄——終戦を知らずに2年間、ガジュマルの木の上で生き抜いた日本兵の実話に基づく物語。